

春雪の「烏帽子岳」から後立山連峰を望む

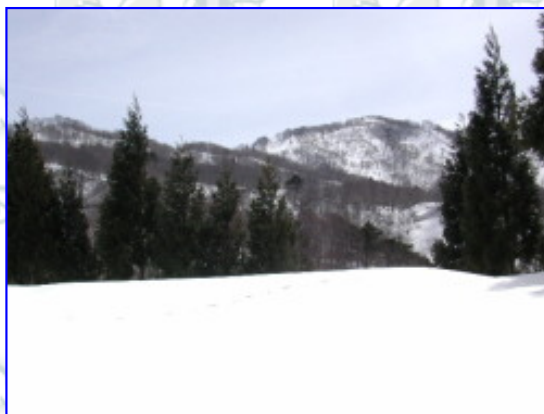
2002年春山情報 4号 3/25

3/25 このところの三月の以上気象で、予測のつかない天気であるが、突然天候がよくなったので、勤務先から、急遽「烏帽子岳」へ行くことに決めた。
ちょっと前の暖かい気候と、「黄砂」に汚れた山々が、昨日までの新雪ですっかり白銀の世界になってしまった。先日の下見もあり、クロスカントリースキーを利用、時間がかかったが大変楽に行動できた。しかし、稜線は新雪の量が多く、ちょっと難儀した行程であった。

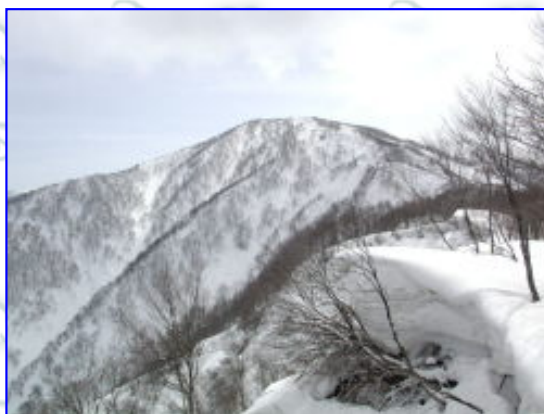
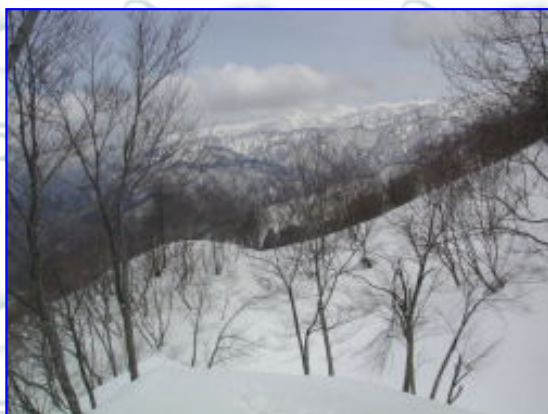
今日の日程

学校 10:00 - 嘉例沢の部落 10:30 - 嘉例沢森林公園 11:30 - 烏帽子岳の稜線 12:00 - 烏帽子岳 13:00 - 嘉例沢森林公園 14:00 - 嘉例沢の部落 14:30 - 自宅 15:30

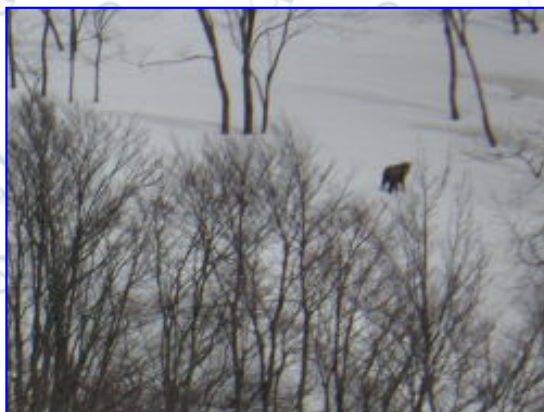
嘉例沢の部落からしばらく、クロスカントリースキーで行くと、「下立」からの林道からの合流点になる、この付近ではまだまだ道路上の雪はなくなりそうにもない。
嘉例沢の森林公園から烏帽子岳の稜線を望む。



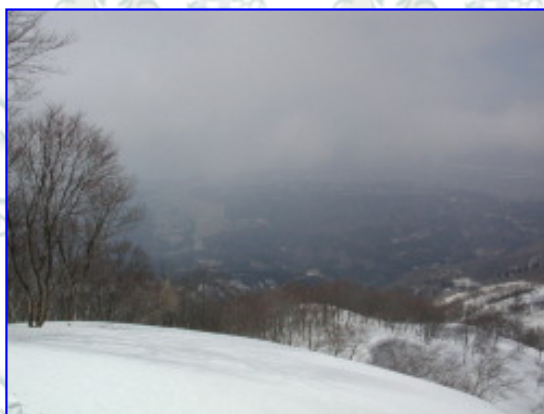
嘉例沢森林公園の林道から尾根へ直登、・・・ようやく稜線にたどり着いた。目の前に、後立山連峰が連なる・・・久しぶりの「後立山連峰」の展望だ。ちょっと行くと、いよいよ、目標の「烏帽子岳」の頂上が見えてきた。



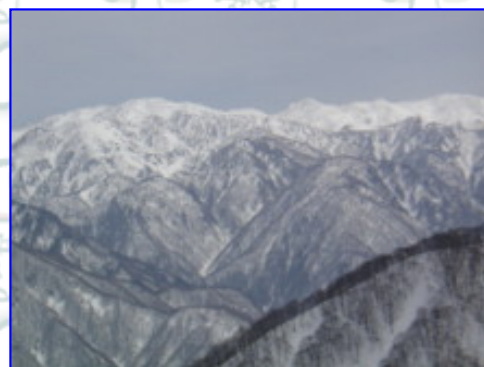
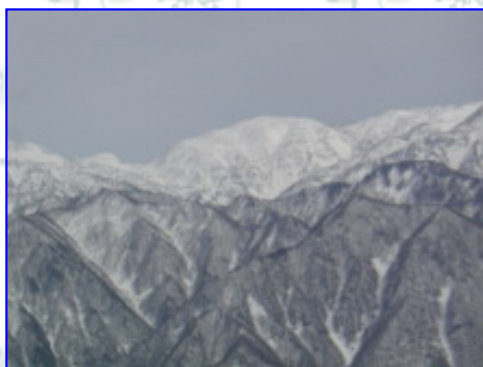
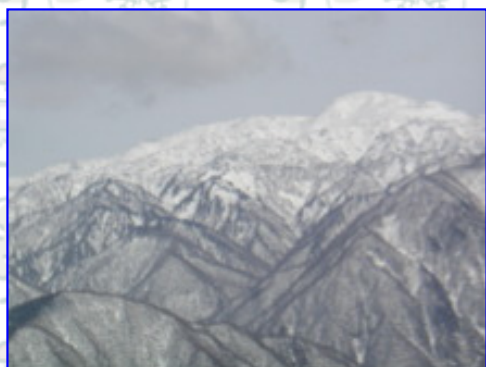
嘉例沢森林公園の三角点・・・「鋸ヶ岳」から富山平野を望む。
誰にも会うはずもない稜線であるが、ところどころに「かもしか」の足跡が・・・ついに見つけた。



ここからは、黒部川から宇奈月温泉を一望することができる。
富山平野がますます広く見えるようになってきた。

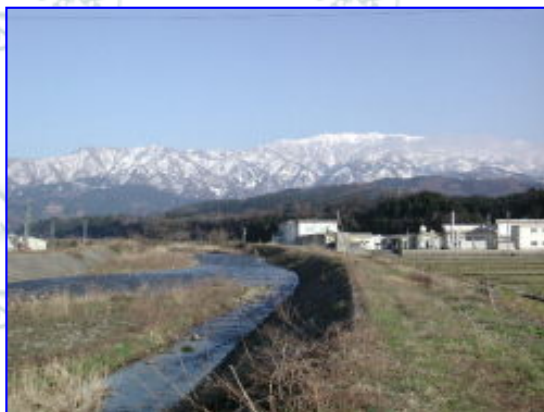


後立山連峰の全貌・・・天気不安なので、一応撮影した。



撮影の条件はこれからだという気がするが、「夕日の写真が取れるかも知れない」という気持ちに後ろ髪を引かれながら、早々にして帰宅する。

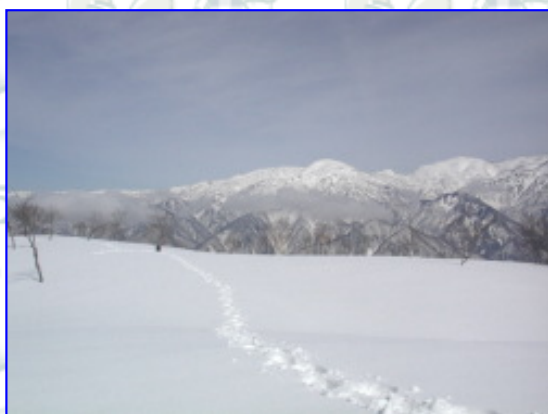
最後に、僧ヶ岳の本流コースの河川・・・「布施川」より「僧ヶ岳」の全景。



ついに、「烏帽子岳」の頂上へ到着。

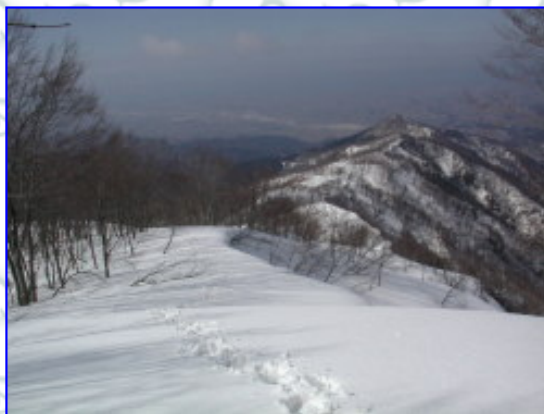
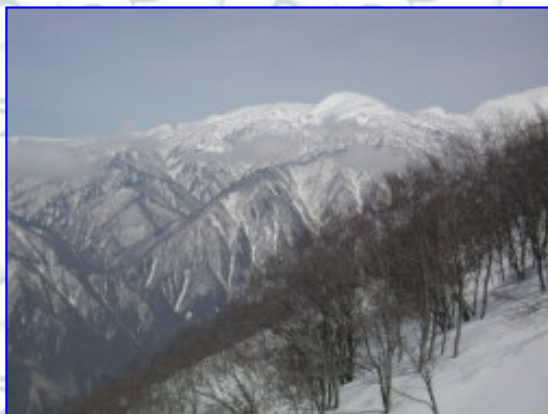
写真のように、今日は予定以上に新雪が積もっていて、時々ラッセルが必要なほどの苦労があった。

頂上ではご覧のように、素晴らしい天気となったので、大変、満足な一日であった。



帰りの稜線は天気がよくなり、ますます快適だ。

さすが条件がよくなると、写真も写りが少しよくなってきた。「朝日岳」もしっかりと見える。



僧ヶ岳が目の前に広がる・・・左の写真は今年目標の一つ「駒ヶ岳」が見える。
右は、はっきりしないが「僧ヶ岳」の頂上である。
横切っている宇奈月からの、林道はびっしり雪があり、開通まではまだまだという気がする。

